

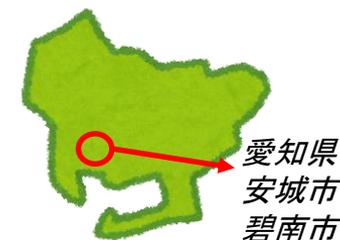
取組の概要

取組の概要 : 予冷施設の整備によるチンゲンサイの産地競争力・販売力の強化
 計画作成主体 : 安城市地域農業再生協議会
 対象品目 : チンゲンサイ (産地面積 : 7.05ha)
 主な取組主体 : J A あいち中央
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加(総販売額)
 助成金の活用 : 整備事業 (予冷施設)
 状況

ポイント

○真空予冷施設の整備により出荷するチンゲンサイの品質が向上、産地の評価と生産者の意欲を高め、契約取引の割合の増加、作付面積の増加を図り、それに伴い、販売額10%以上の増加を実現。

地区の概要



産地の現状と目標

〈現状 : 平成26年度〉

生産面積 6.82ha
 出荷量 1,526t
 生産者数 12名

〈目標 : 平成30年度〉

生産面積 7.05ha
 出荷量 1,613t
 生産者数 12名



推進体制

○地域の関係者(愛知県西三河農林水産事務所、安城市、碧南市、JAあいち中央)が一体となって事業を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

○全戸でGAPIに取組み、毎年取組効果の検証を行っている。
 ○街路樹や果樹剪定枝から製造された堆肥を活用している。

〈県・市町村単独事業〉

○安城市の「農協生産部会活動促進事業」を利用して健全な部会運営を行っている。

事業効果

○チンゲンサイの品質を向上させることで産地の評価と生産者の意欲が高まり、契約取引の割合と作付面積が増加。
 ○販売額の増加により、生産者の所得の向上につながり、チンゲンサイの産地強化を実現。

～チンゲンサイの販売額～

